

(1) 第2期愛西市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

番号	意見	回答
1	愛西市並びに近隣の幼稚園や保育園が幼保連携型認定こども園に移行されていますが、どのような理由からですか。 時間外保育や児童クラブ事業など待機児童がいないことは素晴らしいことだと思います。	保護者が働いている、いないに関わらず利用できるなど、利便性が高いことなどが考えられます。
2	特色ある幼保によって差が出ている。幼児教育に熱心な方が増えている。その割に、家での取り組みは乏しい。共働きが多いので、家でみるのが半減している。 学童のキャパ=人数、比例しているのか。学童のあり方も市から予算や提供があればより充実したものになると考える。	学童(児童クラブ)の登録者数は、令和2年度1,034人、令和3年度933人、令和4年度922人と減少傾向にあります。今後の学童の傾向を見ながら、そのあり方について検討しつつ、十分な予算の確保に努めていきたいと考えております。
3	時間外保育がどこの園でもやっており、勤務しているお母さん方にはありがたいことだと思う。	働く保護者のため、時間外保育の提供体制の確保に努めていきたいと考えております。
4	幼稚園、保育園、認定こども園などの入所希望者が、全員入園できることは、とても大切なことです。関係する皆様の努力に感謝します。 また、時間外保育や児童クラブでも同様に、希望する人が安心して子どもを預け、働ける環境が整っていることは素晴らしいことです。	幼稚園、保育園、認定こども園、時間外保育や児童クラブについては、希望される方が全員利用できるよう、引き続き受入れ先の確保に努めていきたいと考えております。

(2) 第2期愛西市子育て応援プランの進捗状況について

番号	意見	回答
1	資料を拝見して知らなかった様々な取り組みが行われていて驚きました。子育て世代にもっと周知され愛西市への移住を考える材料になり得るのではないかと思います。人口増加、活性化につながるプランなどありますか。	様々な子育て支援に関する事業を実施しておりますが、魅力ある事業の展開や拡充により、人口増加や活性化につなげていきたいと考えております。
2	③-1 保育園による一時預かり事業 もっと気軽に安く利用できると◎	事前に連絡をいただき、余裕のある時のみお預かりしています。需要をみながら進めていきたいと考えています。
3	⑤-2 病児・病後児保育事業 市の公立保育園で対応できないか(津島市あり)	公立保育園の役割を考えながら、今後検討していきたいと考えております。
4	⑦-2 発達障害児等の支援体制づくり もっと具体的に道しるべを	市では、現在、発達障害児支援の拠点として発達支援センターの開設に向けて準備を進めております。今後の支援体制については、関係部署、関係機関等と協議しながら、計画を進めていきたいと考えております。
5	⑧-1 家庭児童相談室 もっと気軽に行ける体制づくり	より気軽に相談できる雰囲気づくり、周知等を図っていききたいと考えております。
6	⑨-1 不登校対策の充実 家庭訪問など外との関わりをつなげたい	関係部署、関係機関と連携し、それぞれの不登校児童に応じた、きめ細やかな個別支援を行っていききたいと考えております。
7	⑨-2 愛西市青少年国際交流 ZOOMでもするべきだった。中止はもったいない	オンラインの開催など、実施方法について見直しを検討したいと考えております。
8	⑩-1 子ども会活動 コロナ対策に気をつけながら実施するべきです	子ども会活動については、コロナ禍でも開催しやすいイベント等に見直すなど、保護者の皆様からの意見を取り入れ、工夫をしながら活動していきたいと考えております。
9	相談体制の充実 もっと動かないと。はがきやネットやいろんな方法で	より多くの方に知っていただくため、相談窓口の周知については、あらゆる手立てで一層工夫を凝らしながら進めていきます。
10	子が生まれたら100万円！！	令和2年度の出生者数が270人あり、年間100万円×270人＝2億7千万円と試算されます。費用対効果もふまえ、事業を検討したいと考えております。
11	ママパパ教室は大変意義のある事業だと思うが、参加者の割合をもう少し高くする方法を考えてほしい	参加者の意見を取り入れながら、より一層参加しやすい事業になるよう進めていきます。

(2) 第2期愛西市子育て応援プランの進捗状況について

番号	意見	回答
12	新型コロナの影響で、行事やイベントが減っているのはやむをえないことです。それよりも、コロナのために孤立がちになったり、外出できずに精神的にも物理的にも社会と疎遠になったりする人が増えたりしないか心配です	新型コロナウイルス感染症が拡大している状況であっても、他者との交流を図ることができるよう、十分な感染症対策やオンラインでの事業開催など工夫をしながら事業を実施していきます。
13	・乳児家庭全戸訪問事業について R3年度取組状況において、「令和3年度も令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、対象者の希望を確認し、訪問はせず電話連絡のみとしたケースもあった」と記述されています。電話連絡を行うことにより、実施率は100%となったのでしょうか。100%となっていないのであれば、実施できなかった家庭に対してどのように対応したのでしょうか。また、この事業の大きな目的の一つに乳児への虐待予防というものがありますが、電話連絡のみで虐待が起きていないということが確認できたのでしょうか	訪問実施率は83.0%ですが、電話での聞き取りも含め対象となる児童家庭の状況は全数把握しております。また、家庭訪問ができなかった場合でも、電話での確認時に母の育児不安や悩みを聞き取り、必要なサービスや相談支援へとつなげることで虐待予防に努めております。
14	・養育支援訪問事業について 養育支援訪問事業が実件数として毎年数件、実施されていることが報告されています。養育支援訪問事業の対象家庭の内容について養育支援訪問事業実施要項に4つ挙げられていますが、実施要項の対象家庭に添って、それぞれ何件であるのかという報告は難しいでしょうか。愛西市において養育支援を要する家庭について理解し、それを即した支援体制のよりよい整備について考えることにつながると思われます	訪問件数の内訳として、対象家庭の内容別の件数は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・妊娠期から支援が必要な家庭 0件・子育てに対して不安や孤立感を抱える家庭 1件・虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭 0件・その他育児上支援が必要と認められる家庭 1件
15	・母子手帳の交付について 母子手帳の交付に関することについて質問があります。 他の市町村において、多子の場合の「ふたご手帳」や、低体重児の場合の手帳などを希望する保護者に配布していますが、愛西市では配布していますか。一般的な乳児の発育ではない場合が多いこのような子どもたちの保護者への支援にもつながるものだと思います。 また父親の子育てを支援するために父子手帳を配布している市町村がありますが、愛西市では配布していますか。 これらの手帳が配付されていないのであれば、今後配付することを考えていただけるのでしょうか	本市では、「ふたご手帳」や低出生体重児の場合の手帳の配付は行っておりません。また、父子手帳についても配付していませんが、県が配信する「お父さんダイスキ」のアプリをご案内しています。市独自の手帳の交付については現在予定はございません。多胎の方には市内で開催されている「ふたごっちゃんクラブ」や、県等で行われる多胎セミナー等の情報提供をしています。低出生体重児に対しては、個別に必要と思われるサービス等の情報提供を行っています。

(2) 第2期愛西市子育て応援プランの進捗状況について

番号	意見	回答
16	<p>⑦-2について 現在、発達障害といわれる子が多いです。グレーゾーンといわれる子も合わせ10人に1人とも言われています。3歳児健診が現在あると思いますが、小学校に入るまでに適切な就学場所の選定を図るためにも、満5歳児健診を愛西市独自で行ってほしいです。 本当に相談(←保護者が気づいている)できる人はいいですが、気づいていない人にとっては、判断が遅くなることもある。</p>	<p>発達障害または発達障害と思われる子どもに対して、早期発見、早期支援につながるよう、また必要な方に確実に支援ができるよう引き続き体制の整備に努めていきます。</p>
17	<p>子育て世代が愛西市を選んでくださるよう今後も子ども子育て支援事業・応援プランの情報発信をお願いします</p>	<p>子育て世代に対して魅力ある愛西市子育て支援施策の情報発信に努めていきます。</p>

(3) 公立保育園等事業の状況(予定)について

番号	意見	回答
1	私は佐織地区ですので、佐織保育園の近くを通ります。 今、津島警察が仮ではありますが、園へ通われている親子さん達は送迎時、危なくないのですか。車がかなり止まっていますよね。知り合いにいないので聞きませんが、ふと疑問に思っていました。	佐織保育園の利用者の方には、不便をおかけしております。利用の方に注意を呼び掛けるとともに、送迎時の安心・安全に取り組んでいきます。
2	佐屋中央保育園と佐屋北保育園の統合まで1年となりました。利用者が迷ったり不安になったりすることのないよう、細やかな配慮をお願いします。	利用者にとって、安心した統合ができるよう、努めていきたいと考えております。
3		

(4)その他

番号	意見	回答
1	お忙しいとは思いますが、もう少し早く書面開催のことお知らせしていただきたかったです。前日に資料が届きましたが、仕事もお休みを取っていたので。この意見書提出も祝日や土日があるため郵便が間に合わないのでもちよっと困りました	委員の皆様には連絡が遅くなり申し訳ありません。今後は、早い段階で準備を進めていきます。
2	小学校→宿題が少ない。先生によって雑さが目立つ。教育にも特色をもつといい。愛西市ならではの！！やはり義務教育でやること、市でやることあると、とても魅力だと思います。コロナ禍でもできることはやる。対策をしっかりして、授業参観などZOOMやなにかで。もっとICT化していく必要がある。教育に力を入れて欲しい(基礎学力定着の上で、個々のレベルで)スポーツにも力を入れて欲しい	特色ある教育については、児童生徒にとって、なにが必要かを常に考えながら学校教育の在り方を模索しています。愛西市は、ICTのよさを取り入れつつも、実際に体験することで培われる力も大切にしながら、しなやかな心身をもつ子を育てていきたいと考えています。ICT教育については、一人1台に割り当てられたタブレット端末をさらに活用していけるように、学校外で利用できる機会を増やしていきたいと考えています。基礎学力の定着、体力の向上など一つ一つの課題に対しては、市として現状を分析しつつ、学校と課題を共有し、学校ごとに考えをもった教育活動を展開できるよう働きかけていきます。
3	保育園統合は時代の流れで仕方がないと思われるが、通園時の車の混雑やスクールバス等は問題ないのだろうか？	佐屋中央保育園は、新たに駐車場を整備をいたしましたので、混雑は解消されると考えております。
4	コロナが猛威をふるう中、日常の生活を維持するために努力をいただいている子育て支援に関係する皆様に感謝申し上げます	引き続き新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、子育て支援に関する事業継続に取り組んでいきます。
5	保育の質を上げるために、いろいろと考えていきたいと思っている	保育の質を上げるため、愛西市でもその支援に取り組んでいきます。
6	発達障害、障害児の拠点になる施設が完成しつつあり、18歳以降も対応できる事は大変素晴らしいと思います。子育て世代包括支援センターも18歳以降繋ぎ社会参加できる方が増える事を望みます	子育て世代包括支援センターは、18歳以下を対象としています。18歳以上になられた方へは、今後その方と関わる関係機関等に円滑につながっていくことで切れ目ない支援を図ってきたいと考えております。